

としょかん 図書館だより

葛塚小学校図書館
平成30年6月15日
NO. 2



カルガモの親子が旅立ち、もうすぐプールが始まります。6年生のみなさんは文化体験学習が近づいてきました。休み時間も、本やインターネットで下調べをしている人でにぎわっています。事前に学んでから行くとより深く理解できます。これからも学校の学習のときだけでなく、自分が知りたいこと、興味のあることをたくさん調べて、考えをより深くして行ってほしいと思います。身近な図書館をぜひ活かしてください！

そして、明日から“週末うちどく”が始まります。おうちでもテレビを消して本を開く時間を楽しんでください。

としょかん 図書館まつりが始まります！

もうすぐ図書館まつりが始まります。全校のみなさんにもっと図書館に来てもらえるように、図書委員が楽しい企画を準備しました。たくさんの参加を待っています。

期間 6月25日(月)～29日(金)

としょかん 図書館キャラクター選挙

図書委員が考えたキャラクターの中で、一番図書館にピッタリなものを決めて投票してください。1位になったキャラクターを、図書館に登場させていきます！
キャラクターは図書館に飾るので、ぜひ投票しにきてください。

本くじ

休み時間に本を借りるとくじが引けます。本を借りるごとに何回も挑戦できるので、たくさん読んで参加してください。

<景品>

- ・しおり
- ・ 借りられる券
- ・図書委員休み時間体験券
- ・お気に入りの本P Rできる券

おうちの方へ

週末うちどく（週末家庭読書）のお願い 『テレビを消して“週末うちどく”をしよう！』

学校では、週に1回の図書の配当時間や、水曜日の朝読書、隙間時間に行う隙間読書など、読書活動を進めています。そこで、学校だけでなく、おうちでも子どもたちに日頃から本と触れ合い、家族で本の世界を楽しんでほしいと“週末うちどく（週末家庭読書）”を計画いたしました。ご多用のこととは存じますが、テレビを消し、本を開いて家族で過ごすきっかけにいただけたら幸いです。

なんで“うちどく”？

うちどく（家読）は、“家族ふれあい読書”のことです。おうちの人と一緒に本を囲む時間は、子どもにとってとても大切な経験です。お子さんが大きくなってからの読み聞かせはもちろん、おうちの人と一緒にテレビを消して別々の本を読書することも、子どもにとって大切な時間となります。本の感想を伝え合うのも楽しいですね。

子ども時代だからこそ、本の世界での体験は、実際の体験と同じように心に生きて残り、特別の楽しさと喜びを与えてくれます。そして、それを身近な大人と共有することで、喜びや安心感に繋がり、その温かさが「生きる力」の基盤になっていくと言われています。

何より、家族一緒に本を開くことは、他では得られない特別な楽しさがあります！
是非この機会に、大人も子どもも一緒に、本の世界を楽しんでみてください。

1 期間 6・7・9・10・11・2月の第3週末（9月のみ第4週末）の中で都合のよい日

2 時間 10分程度から

3 うちどくの進め方

- ・家族でそろって、それぞれ違う本を読む。
- ・おうちの人子どもに読んであげる。
- ・子どもがおうちの人に読んであげる。 等

4 読む本

- ・学校の図書館・市立図書館から借りた本、家にある本等自由です。

（教科書・図鑑・マンガは除く）

- ・物語・昔話・伝記・科学読み物等 読み物に目を向けさせるチャンスにしていたきたいです。

5 「週末うちどくカード」の記入について

実施する週末にお子さんが「週末うちどくカード」を持ち帰りますので、実施されましたら、お子さんと記入し、休み明けに担任までご提出ください。図書館だよりで紹介させていただくことがあります。

